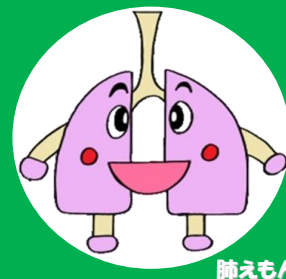


## 多摩府中保健所感染症週報

平成30年 第32週 (8月6日~8月12日)



## 今週の傾向

★RSウイルス感染症の報告数が引き続き増加しています。

★手洗い・咳エチケットを行い、集団生活では飛沫感染・接触感染に注意しましょう。

## ●定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第31週	第32週	第31週	第32週
インフルエンザ	インフルエンザ	0.07	0.35	0.02	0.33
小児科	RSウイルス感染症	1.32	1.94	1.45	1.66
	咽頭結膜熱	0.16	0.18	0.38	0.24
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.47	1.18	1.57	1.23
	感染性胃腸炎	3.00	2.88	3.94	3.40
	水痘	0.47	0.24	0.21	0.17
	手足口病	0.79	0.53	1.16	1.15
	伝染性紅斑	1.26	0.59	1.05	0.78
	突発性発しん	0.42	0.35	0.54	0.44
	ヘルパンギーナ	3.84	1.88	3.37	2.57
	流行性耳下腺炎	-	0.29	0.08	0.09
	不明発しん症	0.21	0.18	0.16	0.08
	川崎病	-	-	0.02	0.01
	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-
流行性角結膜炎		-	1.00	0.92	1.12
基幹	細菌性髄膜炎	0.67	-	0.08	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0.33	-	0.12	0.08
	クラミジア肺炎 (オウム病除く)	0.33	0.33	0.04	0.04
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-
	インフルエンザ (入院)	-	-	-	-

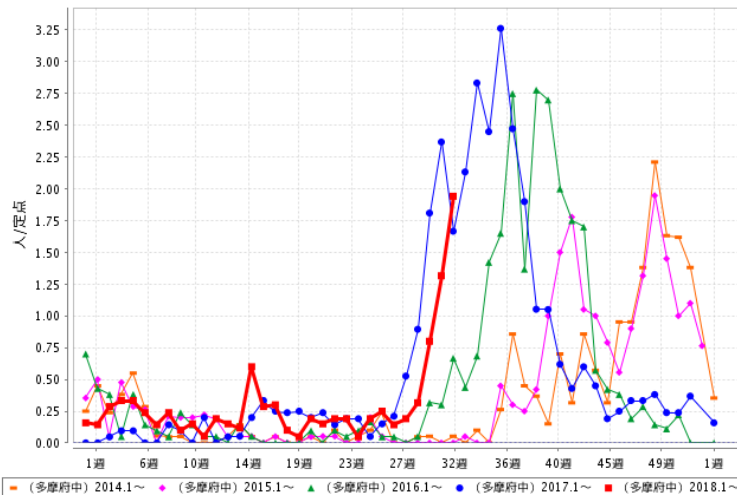
※平成30年1月第1週より百日咳が定点把握対象疾患から全数把握疾患に変更されました。

今週の状況 …過去5年間の比較

赤線は2018年第32週までの定点あたりの報告数

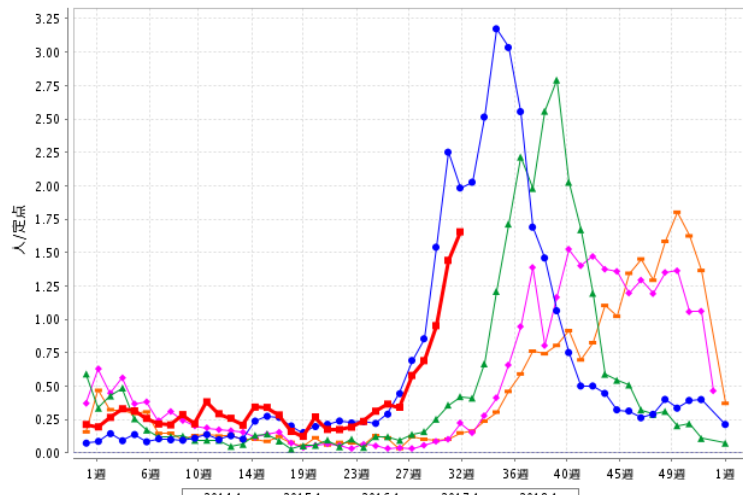
●RSウイルス感染症・・・引き続き増加傾向がみられます。

多摩府中保健所管内



©2002-2018 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

都内



©2002-2018 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

情報提供

風しんの発生報告数が増加しています。

2018年1月1日～8月5日までに東京都で19件の届出がありました。

年齢階級性別では20歳代から50歳代で予防接種歴無又は不明の男性からの報告が増加しています

【予防について】

風しんウイルスは飛沫・接触感染をおこします。予防にはワクチンが有効です。

風しん罹患歴がない、またはワクチン接種歴が1回も無い人はワクチンの接種を検討して下さい。

風しんについての情報は、下記の「東京都感染症情報センターHP」をご参考にして下さい。

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/rubella/hitokuchi-joho.pdf?20180808>

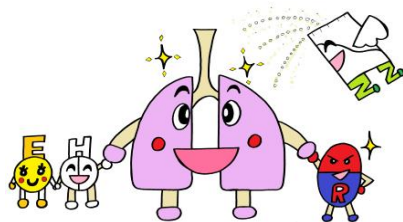
※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

※定点把握対象疾患とは？：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は、対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

参考) 指定届出機関（定点医療機関）

インフルエンザ定点：管内33機関（都内419） 小児科定点：管内21医療機関（都内262）

眼科定点：管内3機関（都内39） 基幹定点：管内3医療機関（都内25）



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当

TEL：042（362）2334（代表）



検索 多摩府中 感染症週報